

信州大学学術研究院教育学系 助教 (主担当:教育学部教育科学グループ) 公募要領

1. 公募の趣旨・背景

国民の心の健康の保持増進を目的として公認心理師法が施行され、心理支援の専門家への社会的要請はますます高まっている。こうした中、科学的視点を持った実践家の養成が求められている。信州大学では、そのようなニーズに応え、公認心理師、臨床心理士の養成ができる長野県唯一の大学院を設置することになった。また、現下・将来にわたる教員養成教育の充実を図るために、教職必修科目である教育相談の基礎と方法に関する十分な専門的業績を有する人材が求められている。子供の心理支援ができる学校教員と、質の高い心理士を養成するために、臨床心理学分野で高い教育研究能力を有した人材を一般公募する。

2. 職名・人員

助教・1名

3. 所属学系

信州大学学術研究院 教育学系

4. 主担当学部等

学 部：教育学部

大学院：総合人文社会科学研究科，教育学研究科

5. 研究分野

臨床心理学分野

6. 職務

ア. 学 部：教育相談の基礎と方法 A・B, 感情・人格心理学, 心理実習 I, 心理支援演習, 心理的アセスメント, 社会・集団・家族心理学, 福祉心理学, 心理演習, 関係行政論, 卒業研究など

イ. 大学院：臨床心理基礎実習, 臨床心理実習 I (心理実践実習), 臨床心理実習 II, 学校カウンセリング総論 (福祉分野に関する理論と支援の展開), 臨床心理査定演習 I (心理アセスメントに関する理論と実践), 人文社会科学修論課題合同発表 A・B, 社会課題別 PBL A・B

(松本キャンパスにおいて共通教育科目及び専門科目を担当することがある。)

7. 応募資格

- (1) 大学院博士課程修了またはこれに相当する教育・研究歴を有すること
- (2) 臨床心理士の資格を有すること
- (3) 公認心理師の資格を有すること
- (4) 心理支援に関する実務経験 (非常勤を含む) を有すること

8. 採用予定日

2020年10月1日

9. 任期

任期の定めなし (定年は年齢 65 歳とし, 定年に達した日以後における最初の 3 月 31 日に退職する)

10. 待遇

給与：本学規定に基づく年俸制とする

勤務地：信州大学長野（教育）キャンパス（長野県長野市西長野6-10）

勤務形態：常勤，裁量労働制

社会保険等：文部科学省共済組合，雇用保険加入

このほか，国立大学法人信州大学の規定に基づく

11. 提出書類

- (1) 履歴書（市販の用紙も可。写真貼付）
 - (2) 最終学歴を証明する書類
 - (3) 研究業績目録（ホームページ <https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/education/> から書式をダウンロードし記入すること）
 - ア. 著書・論文・学会発表・その他に分け，発表年月順に記載のこと
 - イ. 共著・分担執筆については，本人の担当部分を明記のこと
 - ウ. 査読のある学会誌に掲載された論文は，その番号に○を付すこと
 - (4) これまでの研究概要を著書・論文などと関連させて記載したもの（1000字程度・書式自由・日本語）
 - (5) 教育活動歴
 - ア. 諸学校や社会における特記すべき教育活動歴（講演，研究会，研究授業などにおける助言・指導歴，審議会・協議会などの委員の経歴など）を年月順に記載のこと
 - イ. 教育に関する資格及び教育上での受賞歴
 - ウ. 担当授業科目 高等教育機関においてこれまでに担当した授業科目名
 - エ. 大学院研究科での研究指導歴もしくは研究指導補助歴 主査もしくは副査として学位を取得させた大学院生数（主査の場合，副査としての数も括弧書きで示す）
 - (6) これからの本学部・大学院での教育に対する抱負を，教育活動歴及びその内容を踏まえて記載したもの（1000字程度／書式自由・日本語）
 - (7) ケース担当歴
所属機関，おおよその担当件数，おもな担当業務を表形式でまとめたもの（書式自由）
 - (8) ケースへの取り組み
心理士としてどのようにクライアントに関わっているか，基本的な考え方や態度，主に用いている検査や技法等について1ページ程度（A4）にまとめたもの。
 - (9) 臨床心理士資格登録証明書のコピーおよび公認心理師試験合格証書のコピー
- 上記（1）～（9）について，各1通を提出すること。
- 上記（3）に記載の業績のうち主要な5点について，現物もしくは別刷またはコピーを各1部提出のこと。なお，後日，目録記載のすべてについて現物またはコピーの提出を求められることがある。

12. 応募締切

2020年1月7日（火）当日消印有効

1 3. 選考方法

第一次選考（書類審査）を経て，第一次選考合格者に対する第二次選考（面接及び模擬授業）により選抜を行う。（その際の旅費等は応募者の自己負担とする。）

※信州大学は男女共同参画を推進しており，業績等（研究業績，教育業績，社会的貢献ほか）及び人物の評価において同等と認められた場合には女性を採用します。ただし，これは性別のみで優先的に採用することを認めるものではありません。

1 4. 書類提出先

〒380-8544 長野市西長野 6-ロ

信州大学教育学部長 宮崎樹夫 宛

（必ず郵便書留とし，表に「教育科学グループ 教員応募書類在中」と朱書きすること。）

1 5. 問合せ先

信州大学教育学部 教授 高橋 知音

e-mail : tomonet@shinshu-u.ac.jp

電話 : 026-238-4223

1 6. 信州大学教育学部のホームページの URL

<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/education/>

1 7. その他

- (1) 国家公務員，地方公務員，特定独立行政法人等から本学の職員になる場合は，退職手当にかかる在職期間の通算は行われないので注意してください。
- (2) 選考段階において，胸部 X 線検査の結果及び医師による総合的な所見が記載されている診断書の提出を求めることがあります。
- (3) 信州大学では，研究者がその能力を最大限発揮できるよう，研究補助者制度やメンター制度の導入による研究環境の整備を行っています。また，教職員のワーク・ライフ・バランスの推進として，学内保育施設運営，ベビーシッター派遣事業割引券の配付，大学入試センター試験等における一時保育など男女共同参画へ積極的な取り組みを行っています。